

福井洞窟 [J-3]



福井洞窟は、国見山系から西に流れる福井川の侵食により形成された砂岩洞窟である。標高110mの位置にあり、間口16.4m、奥行5.5mの規模がある。昭和30年代に行われた発掘調査では、地表から深さ約6mの岩盤まで発掘され、旧石器時代から縄文時代草創期までの遺物が層位的に出土した。土器と細石器が同時代の地層から検出されたことで、旧石器文化から縄文文化への移り変わりが明らかとなり、学史に残る画期的な成果を上げた。また、最下層である15層からは、安山岩の両面加工石器などが出土し、31,900年より古いという、当時の測定技術の限界を超えた古い時期とされた。昭和53(1978)年に、史跡として国から指定された



住 佐世保市吉井町福井宇
岩下1013

TEL 0956-24-1111

P あり

交 西肥バス 下福井バス停

案 なし

休 ー

